

# 図書館だより

枚方市立図書館通信第60号

枚方市立図書館のホームページでもご案内しています

平成23年12月 枚方市立中央図書館発行

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1(バス停「片鉾・中央図書館」前)

TEL 050-7105-8141 FAX 072-851-0962

中央図書館は毎週金曜・第4火曜休館

各分館は毎週月曜・第3木曜休館

## 枚方市の移動図書館車「ひなぎく1号」が岩手県へ

枚方市は、東日本大震災の被災地を支援するため、中央図書館が予備車として所有していた移動図書館車両「ひなぎく1号」と市職員有志によるカンパで購入した本135冊、寄贈の本73冊の計208冊を「シャンティ国際ボランティア会」に寄贈しました。同会は、岩手県の陸前高田市、大槌町、大船渡市、山田町の仮設住宅(計13か所)に軽トラックに本を積んで巡回する活動「いわてを走る移動図書館プロジェクト」を展開しています。

枚方市立図書館では、職員4名が11月19日から21日までの日程で、岩手県遠野市へ「ひなぎく1号」の贈呈式と20日に同会が陸前高田市の仮設住宅3か所を巡回するのに同行し、おはなし会を実施してきました。

11月20日 午前9時よりシャンティ国際ボランティア会岩手事務所で竹内市長からのメッセージと「ひなぎく1号」の記念パネル写真を手渡し、車両の贈呈式を執り行いました。

記念撮影後、現地スタッフとともに陸前高田市へ出発、3か所の仮設住宅でおはなし会や



科学手品を図書館職員が披露しました。子どもたちの笑い声がいっぱい広がり、また、住民の皆さんにも震災当日の様子やお話もうかがうなど交流をすることができました。



陸前高田市で現在図書館を担当している生涯学習課の職員も巡回中の仮設住宅に駆けつけてくださいました。震災で市役所の機能そのものが壊滅的な被害を受けたこと、図書館職員が全員亡くなってしまったことなどのお話をうかがい、ともに市民のために働く自治体職員として我々が学ぶべきものがたくさんありました。



巡回終了後のスタッフミーティングでは、「おはなし会や手品の開催により、住民の皆さんとの距離が一層近くなった、またスタッフ全体としても一体感があった」「枚方市立図書館での永年の経験を生かした移動図書館車両の設備に感心した」といった感想をいただきました。

同会では、「立ち読み、お茶飲み、おたのしみ」を合言葉に、巡回時には、無料でコーヒーやジュースのサービスをしながらお話を聞いたり、本を通じて仮設住宅で生活している人々のコミュニティづくりに大きく貢献していることを一緒に仮設住宅を回りながら、その活動の大切さを実感しました。

我々が行った被災地での支援活動は1日だけでしたが、まだまだ復興・復旧には長い時間と支援が必要だろうと思われます。枚方市が贈った「ひなぎく1号」が現地スタッフによって大いに活用され、被災地の皆さんの心の安らぎとなることを願って帰路につきました。

## 各図書館と分室の12月イベント情報

### ○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会  
テキスト未定：お問い合わせください  
➢ 12月17日(土) 午後3時 2階ホール
- 枚方公園分室 成人読書会  
中村 克／著 『最後のパレード』  
➢ 12月16日(金) 午前10時半



### ○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図) 12月14, 28日(水)  
「0歳のおはなしひろば」午前10時半  
「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分
- 楠葉(図) 「はじめてのえほん」12月7日(水)  
0歳：午前10時半 1歳から：午前11時
- 牧野(図) 「親子で楽しむおはなし会」  
➢ 12月21日(水) 午前11時
- さだ(図) 「おはなしいっぱいおはなし会」  
➢ 12月21日(水) 午前11時



### ○工作など

- 釈尊寺分室 「紙で作るプチケーキ」  
➢ 12月21, 22日(水, 木) 午後1時~4時半
- 氷室分室 「クリスマスツリーをつくろう」  
➢ 12月15日(木) 午後1時~4時半
- 宮之阪分室 「カレンダーをつくろう」  
➢ 12月15日(木) 午後2時~4時半
- 香里園分室 「リンリンベル」  
➢ 12月17日(土) 午後1時~4時
- 茄子作分室 「りんりんベルをつくろう」  
➢ 12月14日(水) 午後1時~4時半
- 村野分室 「カレンダーを作ろう」  
➢ 12月16日(金) 午後1時~4時半
- 東香里分室 「オリジナルカレンダー」  
➢ 12月17日(土) 午後1時~4時
- 藤阪分室 「2012年のカレンダーを作ろう」  
➢ 12月24日(土) 午後1時~午後4時

### ○その他

- 藤阪分室 「手話の会」  
➢ 12月12日(月) 午前10時~正午

(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)



12月のふれあいルーム(午前10時~午後0時半)

- 中央(図) ぱおぱお 5, 12, 19日(月)
- 香里ヶ丘(図) ハートネット 2, 16日(金)  
さくらんぼ 8, 22日(木)
- 菅原(図) ぴよんぴよんうさぎ 4, 11, 18, 25日(日)
- さだ(図) ひよっこ 1, 8, 22日(木)・16日(金)
- 御殿山(図) とこ・とこ 2, 16日(金)  
おひさま 9, 23日(金)
- 牧野(図) わくわくパンダ 2, 9, 16日(金), 22日(木)
- 津田(図) きゅーぴーちゃん 7, 14, 21, 28日(水)
- 楠葉生涯学習市民センター(午前9時半~正午)  
あかちゃんたんぽぽのおへや 13, 27日(火)

【問い合わせ】子育て支援室 TEL841-1221(代)

## 市史資料室よもやま話

### 17 楠葉駅設置1300年

昨年は、平城遷都1300年祭で賑わいました。今でも随所にみられる「せんとくん」に、その余韻を感じることができます。そして平城遷都の翌年にあたる711年には、新たに「楠葉駅」なる国の施設が設けられています。年の瀬で今更ながらですが、今年には枚方の歴史にとって記念すべき年だったので。

楠葉駅といっても、もちろん京阪電車とは無関係です。「駅」とは本来、人や馬あるいは宿舎・食料などを用意しておく施設を意味します。これを道の一定間隔に設けておくことで、官人(公務員)の旅行を円滑なものとしていました。楠葉駅は、平城京と西日本を結ぶ山陽道の駅として位置づけられました。よって楠葉駅の設置は、遷都に伴うインフラ再整備の一環と理解されます。

ここで気になるのは、奈良から西へ向かう道が、楠葉まで北上していることです。その理由は、堤防がまだ十分に整備されていなかったため、増水時の淀川沿いは湿地帯となってしまうことにあります。男山と天王山が淀川両岸から迫る楠葉と大山崎は、一年を通じて地盤が安定しているため、格好の渡し場だったのです。